

## ICT 活用研修開発のための視察調査に関する記録・取りまとめ①

事業名	平成30年度「職業実践専門課程等を通じた専修学校の質保証・向上の推進」 I. 教職員の資質能力向上の推進 (ii) 教職員研修プログラムの構築事業
代表校	一般社団法人全国専門学校教育研究会

会議名	専門学校 YIC リハビリテーション大学校 インタビュー調査
開催日時	2018年10月26日 11時00分～14時30分
場所	専門学校 YIC リハビリテーション大学校 (山口県宇部市)
出席者	委員：山根大助 猪俣昇 視察先担当者：渡辺慎介 石丸拓也 (杉林伸繁) 進行・記録：細野康男 石川大樹
聞き取り調査報告 (教員)	<p>専門学校 YIC リハビリテーション大学校・作業療法学科での ICT 活用事例の聞き取り調査を実施した。</p> <p>〔作業療法学科〕 渡辺 慎介 学科長 石丸 拓也 教員 杉林 伸繁 キャリア事業部長 ※同席</p> <p>1. 現状、eラーニング含め ICT をどのように活用をされているか？ 〔石丸〕 筋肉を触って“筋”の走り方や動きを理解する「触診」という授業で、学生を教員の周りに集めて技術指導をする際に、見えづらい位置にいる学生のために、ビデオカメラとプロジェクタで教室の壁に大きく投影する活用をしている</p> <p>また実技試験では、紙の記録で学生にフィードバックしていたが今年から実技試験の様子を動画に撮ったもので、フィードバックをする取り組みを始めた</p> <p>2. 撮影は誰が行うのか？機材は？ 〔石丸〕 基本二人体制で大勢の学生見ている、他の教員がヘルプで手伝ってくれることもある。基本一人がカメラ、一人が実技指導をするという形で分担している。 機材は私が持っている私物のカメラでやり始めた。</p>

### 3. 学生の反応や効果は？

〔石丸〕

壁に投影されたものを見るのは、前に集まるタイミングを逃して後ろにいるしかなかった学生も“きちんと見える”というメリットがあると感じている。

逆に学生があまり“前に来なくなった”というデメリットもあるが全員が見て理解できる環境を作るのが目的だったのでそれはそれでよい。

〔渡辺〕

今までの紙だけのフィードバックだけだと、学生も首を傾げながら、悪かった部分への実感が無いようだったが、動画見せると我々が指摘する前に、自分から「ここが悪いと思います」と気付くことが出来るようになった。

(動画を)見せて「ね？」だけで済む。学生も「そうです」で済む。口で言っても、学生も緊張している中で(演習した内容を)なかなか覚えてない。(動画活用で)そこは効果覷面だったと思う。フィードバックが1分で終わった感覚がある。

### 4. 課題・今後取り組みたいこと

〔石丸〕

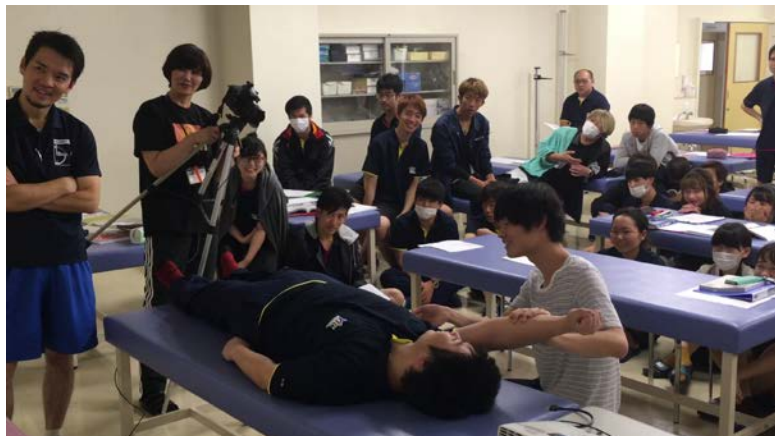
ゆくゆくは録画して映像の教材として、学生がいつでも復習の為に見るとか、そう言ったものに活用できればと思っている。現在は「Classi」という学習管理システムで、テスト問題を1日あたり20問送って学習させるようにしているが、そこに動画を配信できれば使いやすい。

〔渡辺〕

我々教員が動画を撮って、フィードバックに使うのは有効と体感できた。ICT活用の凄さを全教員が理解していないのに、校舎全体で活用を始めようというのは難しい。

まず個人が使って、(次に)組織が体系的に使えるのではないかと、多分そういう流れになるのではないかと個人的には思う。

<p>聞取り調査 (学生)</p>	<p>1. 動画を活用した授業を受けて率直な感想は？</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・前で見ている、人の影で見えなかったのが、プロジェクタで投影してもらったところで分かりやすくなった。</li><li>・一年生が50名程度いるが、教室の前から後ろ全範囲に学生がいるので、前で動画に写すことで、見てほしい角度なども先生が調整してくださり、とても見やすくわかりやすい。</li></ul> <p>2. 録画動画を復習・予習で使いたい？</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・教科書を開けば書いてあることも、実演のほうが分かりやすいし、実際に自分の手元があっているかの確認にもなるので使いたい。</li><li>・(実技は) 何度もやってみないと身につかないものなので、(録画動画があれば) 助かる。</li></ul> <p>3. 自分のスマホやタブレットで、これなら抵抗なく学べるというものはあるか？</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・classi という学習システムを全学生が使っているがここに実際の授業の動画を配信すれば、使いやすい。</li><li>・classi は自宅や通学中の電車内でも学習できる。ただし(スマホの) 通信料増加から、通信制限になるのが懸念点。</li></ul> <p style="text-align: right;">以上</p>
<p>見学内容 所感</p>	<p>(見学内容)</p> <p>◆作業療法学科の解剖学(触診)の授業を見学</p> <p>授業の流れは</p> <ol style="list-style-type: none"><li>① 先週の宿題発表(講師が差した学生グループが前に出て触診の実演を発表) ※画像1</li><li>② 講師が学生の発表に関しておさらいの実演 ※画像2.3</li><li>③ 今週の触診実演指導を講師の後について実習 ※画像4</li></ol> <p>※全行程で、実演をカメラで撮影しプロジェクタに投影</p>



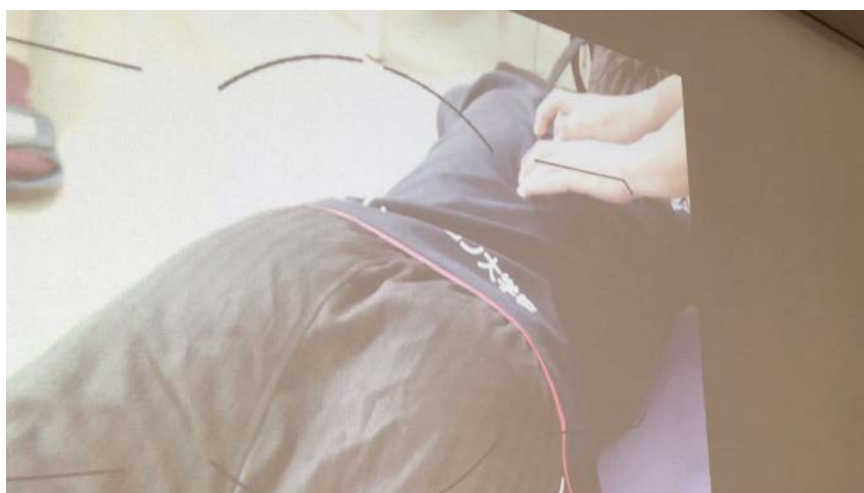
(画像 1)

学生の実演発表の様子を、撮影担当講師が撮影プロジェクタに移った手元アップを楽しそうに見る他の学生



(画像 2)

指導教員のお手本を撮影する教員は、指導教員の手元や動きがわかるよう、プロジェクタの映像を見ながらカメラの画角を調整



(画像 3) プロジェクタで教室の前面の壁に映し出された動画。手元がアップになっていて後ろの席からもよく見える



(画像4) 本日の実習内容を、教員の指導のもと練習する学生。  
指導教員自ら手元を写しやすい場所にカメラを置いて指導している。この写真の撮影場所は教室の中央付近。  
プロジェクタにより教員の手元を見やすいのがわかる。  
機材は、デジタル一眼カメラとプロジェクタをHDMIケーブルで繋いで投影しているだけ。現在は録画せず投影するのみの活用。

#### (所感)

- ・石丸教員の個人機材でのICT活用の試みが、学生の理解度をあげるのに一役買っている。教員が自由にこうした試みができる教務環境の必要性を感じる。
- ・渡辺学科長は「石丸先生の取り組みがなければ、ICT活用を考えつきもしなかった」と仰っていた。まずは教員自身でできることからICT活用を始めて、効果が出てくれば全学で導入という流れが一番良いのではないか？
- ・学生はプロジェクタで投影された実演を楽しそうに見ていた。実演しているのがクラスメイトということもあり、“自分ごと”になりやすく、集中力が上がっているのを実感した。

以上